学校だより　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年５月１９日発行

第　３号

椎　の　木

流山市立東部中学校
生徒数　５５４名

修学旅行　～いつもと同じ？いつもと違う？～

５月に入り、様々な学校生活が順調に進んでいる中で、３年生は奈良・京都への修学旅行に行ってきました。東部中学校としては３年ぶりの修学旅行であり、どうしても新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しないわけにはいかない状況の中での修学旅行となりました。

生徒たちは、事前の準備を昨年度から徐々に進めてきましたが、生徒に聞いてみると、３月の頃には「本当に修学旅行に行けるかどうか」と疑心暗鬼の部分もあったようです。ここ２年間、計画はしたものの旅行行事がほとんどできなかっただけに無理もないかなと思いました。と同時に状況が許せば、何とか自分たちで計画した修学旅行を実施させてあげたいという気持ちにもなりました。

１日目は、朝から順調に出発できました。東京駅や新幹線もいつもの修学旅行と変わらない状況がありました。奈良では、奈良公園、東大寺を中心に班別の行動を予定通り実施することができました。奈良を満喫した後、すべての班が京都の宿に自分たちの力でたどり着くことができました。

＜奈良　東大寺＞　　　　　　　　　＜ホテルの夕食　黙食＞

２日目は、１日京都の班別行動でした。朝８時過ぎに次から次へとタクシーに乗り込み、生徒たち自身が決めてきた見学地をほぼ予定通り見て回ることができました。京都市内は、以前と変わらない様子でしたが、各見学地では修学旅行生がたくさんいました。夜のプログラムでは、妙心寺に行き座禅体験を行いました。２０分ほどの座禅体験でしたが、静まりかえった部屋で無心になり、頭がすっきりしたような気がしました。体験の後には、お坊さんから「命の大切さ」や「人との関わり」について、お話をいただきました。生徒一人ひとりの心の中に何が残ったのかわかりませんが、とても良い時間を

過ごしたように思います。

＜平安神宮にて＞　＜清水の舞台にて＞　＜お土産たくさん＞

３日目は、学級ごとの行動でした。各学級の計画で、伏見稲荷大社、東寺、平安神宮、嵐山方面、清水寺などを散策し、最後は清水寺の昼食場所で学年全体が集まりました。それぞれ、事前の計画の中で候補地を選び学級全体で行動できたことは、良い思い出になったと思います。バスガイドさんからは、またいつか大人になったときに家族や友人や恋人などとゆっくり京都の街を訪れてくださいとありました。

＜清水寺にて＞　＜嵐山　渡月橋にて＞

３日間を通して、コロナ禍前と奈良・京都の雰囲気は大きな違いはなく、生徒たちにとって良い思い出ができたのではないかと感じました。その中で違いがあるとすれば、見る人すべてがマスクを着用していること、そして観光に来ている外国籍の方々がほとんどいないということ位でした。その分、人は少ない印象がありました。

コロナ禍での修学旅行でしたが、生徒たちにとって良い思い出になれば幸いです。

今年度最初の定期テスト　～頑張れ！明日からの中間テスト～

今年度最初の定期テストが始まります。今回のテストは、テスト範囲も少なく２・３年生にとっては、通常のテストだと思いますが、１年生にとっては中学校初のテストであり、緊張するテストだと思います。１年生は今回のテストに向けた取り組みを通して、計画の立て方、自分に合った勉強方法、きちんと理解するための勉強量など、様々なことを学ぶ機会になると思います。また、３年生は進路に向けた大切なテストです。しっかりと勉強したことが出し切れるように頑張ってほしいと思います。